

事務事業名 子ども会育成会指導者研修会事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：669

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-20-554
基本事業：	03	青少年の指導者育成	担当部	教育部
基本事業の成果指標	青少年の指導者・子どもリーダー数 生涯学習ボランティア活動者数（延べ活動者数のうち青少年に関わるもの の人数）		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
子ども会育成会指導者			<p>【子ども会育成会研修会】 子ども会活動を支援する育成会として必要な知識、技術の習得を促す。研修会で、育成会経験者の講話や、レクリエーション活動の講習を行う。</p> <p>【その他の研修】 福岡ブロック子ども会等育成会指導者研修会、筑紫地区子ども会、少年団体指導者研修会等の情報を市子連を通じて情報提供。</p>						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			子ども会活動を支援する育成会（子ども会育成会）の役割と、その支援のあり方を学ぶことにより、子ども会育成会が円滑に運営される。						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標
子ども会育成会数		数	50	49	55	55			60
研修会参加者数		人	50	41	150	150			
5. コスト									
事業費		計	千円	4	2	22	22		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他 一般	千円	4	2	22	22		
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	792	773	782				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	796	775	804	22			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		令和4年度は集合形式で開催し、38単子41人が参加した。子ども会活動に活かせるものとして、ニュースポーツ、遊び、工作の体験学習を行った。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	現在、市子連を退会または活動を休会している子ども会への働きかけについて、市子連と検討している。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
今後も継続して、「子どものための子ども会」の考え方を進めていくなかで、「本来の子ども会とは、どういうものなのか」や、育成者の役割を伝えていくことが必要であり、本事業を通して、研修の場を提供する。					平成27年度より、子ども会活動補助金の対象を見直し、市子連に未加入の子ども会の把握を行った。その中で市の主催事業となる本事業についても、子ども会活動の活性化を図るため、市子連未加入の単位子ども会に向け、参加の奨励を行なっている。				
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
子ども会育成会指導者に対して、子ども会活動を支援する育成会としての役割と、その支援のあり方を学ぶ機会を提供することを目的として開始した。					親や子ども達の価値観の多様化により、子ども会活動に対する認識が薄らいでいる。				